

A top-down view of a person's hands working on a desk. The person is using a smartphone and has several papers with diagrams and notes spread out. There are various colored markers and a pen in a container on the right. The background is a wooden desk.

# ChatGPT活用研修/DX研修 リスキリング提案

株式会社プライオリティ

愛知県名古屋市中区栄4-1-1中日ビル12階

TEL:052-627-8808 FAX:052-627-8809



# 1. ポイント

- ① AI研修を**助成金にて75%OFF**で受講可能
- ② **eラーニング**なので受講者の負担が最小限
- ③ 話題のchatGPTをはじめ、実用的なツールですぐに**効果が実感**できる。



## 2. 研修一覧

- ①生成AI ChatGPT活用DXコース
- ②生成AI SNS活用DXコース
- ③情報リテラシー &  
サイバーセキュリティコース

# 講座① 生成AI ChatGPT活用DXコース

生成AI ChatGPT活用DXコース 全14時間 eラーニング

**概要** ChatGPTを使い、最新の生成AIの業務での活用方法を学びます。実際の業務を行っている皆様を対象となります。社内の情報をデータ化した上でChatGPT(生成AI)を活用してさらに効率的に業務を行うための研修です。

**ゴール** このコースを受講した対象者は、ワード・エクセル・パワーポイントなど事務系ソフトと一緒に生成AIの活用を進めることができるように学習することで社内DXスキルを身に付けることができます。

**こんな方に** 様々な業務でAIを生かしたい。Excelを使っているが関数などをうまく使いこなせない方。

## ■主なアジェンダ

※生成AI機能のリリース状況により内容は変更される場合がございます

1	ChatGPTの準備 ビジネスで利用する場合の注意やセットアップ方法	2	ChatGPTの基本プロンプト 基本のプロンプト
3	文章生成の基本 文章生成基本プロンプト	4	文章生成の応用 文章生成応用プロンプト
5	画像生成の基本 文章からの画像生成プロンプト	6	画像生成の応用 画像生成応用プロンプト
7	エクセルと一緒に使う データの自動仕分け・グループ化など	8	画像・音声認識の基本 画像認識と音声認識の使い方
9	データ分析の基本 データ分析プロンプト	10	GPTsを使う GPTsの使い方
11	GPTsを作ってみる 自社専用のGPTs	12	様々な活用方法 業務に役立つテクニック
13	社内定着アイデア AIを社内定着する方法	14	自社に合わせた活用 自社システムとの連携

## 講座② 生成AI SNS活用DXコース

生成AI SNS活用DXコース 全14時間 eラーニング

**概要** プロモーションやオンライン販売・採用活動に役立つ各種SNSの活用方法を学びます。実際の業務を行っている皆様が対象となります。ChatGPT (生成AI)を活用してSNS更新作業を効率化したり訴求力ある内容を発信するための研修です。

**ゴール** このコースを受講した対象者は、主にスマートフォンでの動画撮影+編集作業と、SNSでの発信内容を作成することを学習することで社内DXスキルを身に付けることができます。

こんな方に SNSの運用に苦労している、発信内容を考えるのに苦労している方。

### ■主なアジェンダ

※生成AI機能のリリース状況により内容は変更される場合がございます

1	SNSを社内活用する準備 活用方法・スマートフォンのセッティング	2	Instagram演習 Instagramの基本演習
3	X/TikTok演習 X/Tiktokの基本演習	4	生成系AIを社内活用する準備 ChatGPTのアカウント作成・セットアップ
5	生成系AIの効果的な使い方① プロンプト演習	6	生成系AIの効果的な使い方② ChatGPTを活用したSNS運用方法
7	スマホでの動画撮影準備 スマートフォンセッティング	8	スマホでの動画撮影 カメラワーク・トランジション
9	スマホでの動画編集 動画の配置・カット・編集	10	企画・構成の仕方 訴求力ある動画を作成するための全体企画
11	撮影テクニック GASのカスタマイズ 集計	12	編集テクニック GASのカスタマイズ 統合
13	光・構図について 向きによる光の種類・様々な構図の理解	14	テンポ感を意識した編集 視聴者を飽きさせない工夫

## 講座③ 情報リテラシー&サイバーセキュリティコース

情報リテラシー&サイバーセキュリティコース

14時間

eラーニング

**概要** 社内のDX推進をするためにはデジタルデータの管理やサイバーセキュリティ対策が求められます。サイバーセキュリティを理解するためのデータ管理・パソコンやネットワークの基礎知識を学び、一人ひとりが今必要なサイバーセキュリティ対策を実施できることを目的とした研修です。

**ゴール** このコースを受講した対象者は、データ活用の知識を持った上でサイバー攻撃等の不正アクセスの手口などを理解し、攻撃を受けない仕組みや攻撃された際に講じる対策を身に付けることができます

**こんな方に** 社内でDX推進をする担当者、日常的に社内データを扱う全社員。

### ■主なアジェンダ

※生成AI機能のリリース状況により内容は変更される場合がございます

1	コンピュータとデジタルデータ アナログ・デジタル、コンピュータで用いられる数の表現	2	データの圧縮・情報のデジタル化 デジタル化する仕組み、データ量の計算方法
3	コンピュータの仕組み コンピュータの5大装置、データと制御の流れ、周辺機器	4	CPUとメモリ CPUの構成としくみ、メインメモリ
5	2進法による計算 加算、2の補数、浮動小数点数、誤差	6	アルゴリズムの基本と表現方法 アルゴリズムの基本構造、フローチャート
7	プログラムの構成要素とデータ構造 変数、データ型、演算、関数、ライブラリ、API	8	コンピュータネットワーク ネットワークの分類、ネットワークの構成要素
9	データ転送の仕組み TCP、UDP、HTTPの役割、ドメイン名とDNS、電子メール	10	データベース データベース管理システム、データモデル
11	情報セキュリティに関連する法令 サイバーセキュリティ基本法他	12	不正なソフトウェアと手口 マルウェアについて
13	情報セキュリティの確保と対策 情報セキュリティに求められる要素	14	暗号化と認証技術 共通鍵暗号方式、公開鍵暗号方式、電子署名、SSL/TLS



## 3. 助成金の概要

### 人材開発助成金 事業展開等リスクリングコース

研修費の**75%**を補助  
(40万円に対し30万円)

従業員1人につき  
**1年度 3回受講可能**

※支給申請日基準

1事業所につき  
**1年度 最大1億円**

企業内での人材育成に取り組む事業主の皆さまへ

## 新規事業展開やDX推進等の人材育成に 「人材開発支援助成金」が活用できます ～「事業展開等リスティング支援コース」のご案内～

人材開発支援助成金は、事業主が雇用する労働者に対して訓練を実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成する制度です。「事業展開等リスティング支援コース」では、新たな事業の立ち上げなど事業展開等に伴い必要となる知識および技術を習得させるための訓練を助成の対象にしています。

### 支給対象

**対象者** 事業主：雇用保険適用事業所の事業主  
労働者：雇用保険被保険者

助成金の詳細  
はこちら→



- 訓練**
- ① 訓練時間数が10時間以上であること
  - ② OFF-JT（企業の事業活動と区別して行われる訓練）であること
  - ③ 職務に関連した訓練で、以下のいずれかに該当する訓練であること

- i. 企業において事業展開を行うにあたり、新たな分野で必要となる専門的な知識および技能の習得をさせるための訓練
- ii. 事業展開は行わないが、事業主において企業内のデジタル・デジタルトランスフォーメーション（DX）化やグリーン・カーボンニュートラル化を進めるにあたり、これに関連する業務に従事させる上で必要となる専門的な知識及び技能の習得をさせるための訓練

注：本コースでは、事業展開などの内容を記載した「事業展開等実施計画」（様式第2号）を職業訓練実施計画と併せて提出する必要があります。取り組み内容を整理し、具体的な記載ができるよう、事前に準備をお願いします。

注：「事業展開」は、訓練開始日から起算して、3年以内に実施する予定のものまたは6か月以内に実施したものである必要があります。

[参考] 事業展開の例：新商品や新サービスの開発、製造、提供または販売を開始する 等  
デジタル・DX化の例：ITツールの活用や電子契約システムを導入し、社内のペーパーレス化を進めた 等  
グリーン・カーボンニュートラル化の例：農業の散布にトラクターを使用していたが、ドローンを導入した 等

### 助成率・助成額

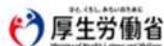
#### ① 助成率・助成限度額

経費助成率		賃金助成額（1人1時間）		1事業所1年度あたりの助成限度額
中小企業	大企業	中小企業	大企業	
75%	60%	960円	480円	1億円

#### ② 受講者1人あたりの経費助成限度額

10時間以上100時間未満		100時間以上200時間未満		200時間以上	
中小企業	大企業	中小企業	大企業	中小企業	大企業
30万円	20万円	40万円	25万円	50万円	30万円

注：e-ラーニング、通信制、定額制サービスによる訓練は経費助成のみです。



厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

都道府県労働局・ハローワーク

LL050518開企01

### 助成金活用例

#### 例)新規事業のための人材育成を行った場合

##### 課題

1年後に先端技術(IoTや画像AI)を活用した安全監視のためのシステムを設計・開発・販売する事業を新たに立ち上げたいが、現在は対応できる人材が足りない。

##### 実施訓練

- 訓練コース AI技術の基礎および応用
- 訓練内容 AIの基礎知識、機械学習等の訓練  
訓練時間：30時間（7.5時間×4日間）  
訓練経費：25万円/1人  
4人受講する場合：100万円/4人

#### 助成内容・成果

##### [助成率・額]

経費助成：75%（中小企業）  
賃金助成：1時間あたり960円（中小企業）

##### [左記の訓練内容の場合の例]

##### ●経費

経費助成：75万円（25万円×75%×4人）  
賃金助成：115,200円（30時間×960円×4人）

##### ●成果

無事に新規事業を立ち上げることができ、新技術を活用した新製品や新サービスの開発、製造等を開始することができた。

### 助成金受給のための手続きの流れ

#### Step0

職業能力開発推進者の選任、事業内職業能力開発計画の策定・自社の労働者に対する周知

- 事業内職業能力開発計画に基づき、職業訓練実施計画を作成する
- 作成した必要書類を訓練開始日の1か月前までに管轄労働局に提出する

##### ■主な提出書類

所定の様式	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業訓練実施計画届</li> <li>事業展開等実施計画</li> <li>訓練別の対象者一覧 など</li> </ul>
添付書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練内容を確認できるカリキュラム</li> <li>訓練期間中の労働条件がわかるもの（雇用契約書の写しなど） など</li> </ul>

#### Step2

##### 訓練実施

- 職業訓練実施計画に基づき訓練を実施する
- 支給申請までに、訓練にかかった経費全額を支払う

- 訓練終了日の翌日から2か月以内に、必要書類を管轄労働局に申請する

##### ■主な提出書類

所定の様式	<ul style="list-style-type: none"> <li>支給申請書、賃金助成の内訳等助成額を算定した書類</li> <li>OFF-JT実施状況報告書 など</li> </ul>
添付書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業主が訓練費用を負担したことを確認できる振込通知書</li> <li>出勤簿、タイムカード、賃金台帳の写し など</li> </ul>

#### [各都道府県労働局の助成金申請窓口]

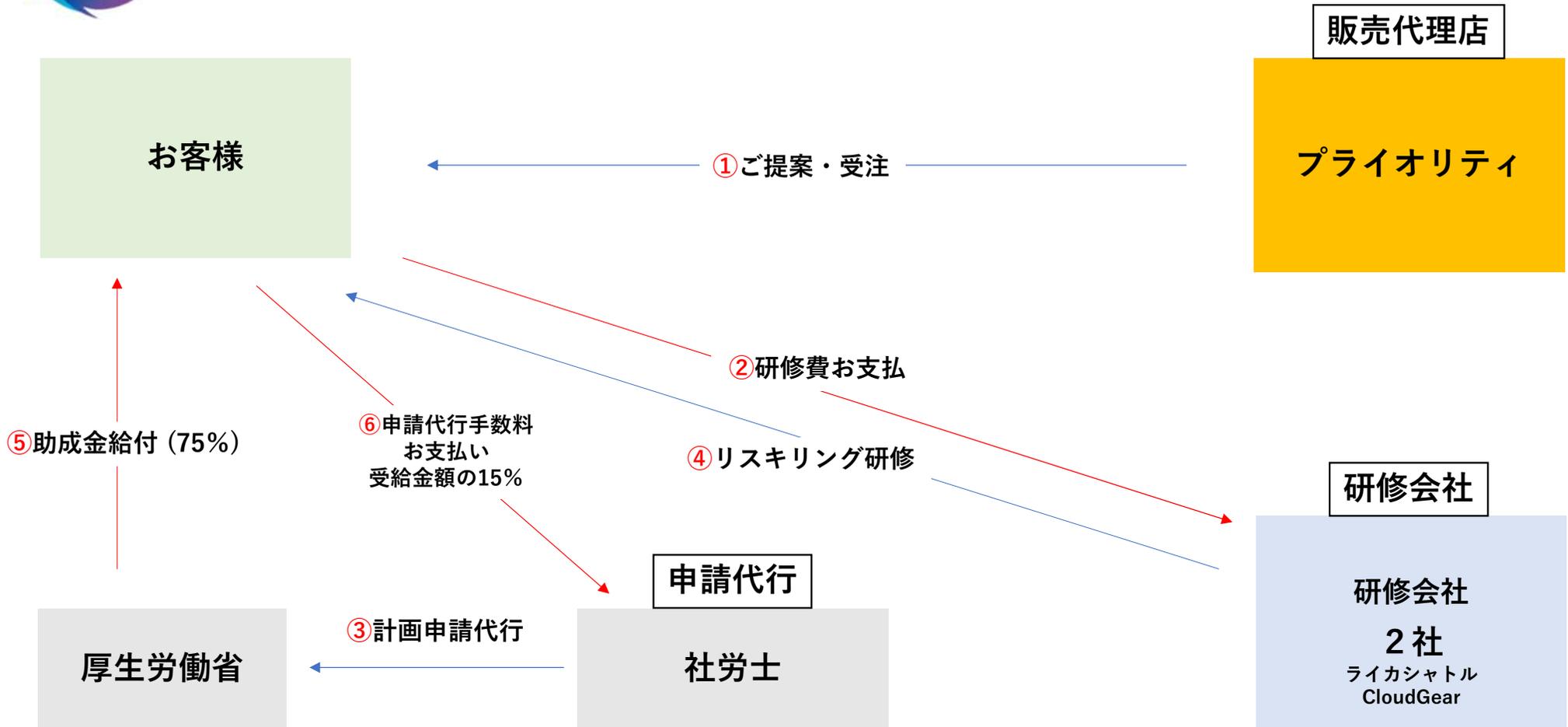
■URL <https://www.mhlw.go.jp/general/seido/josei/kyufukin/toiwase.html>

■スマホは  
こちら→

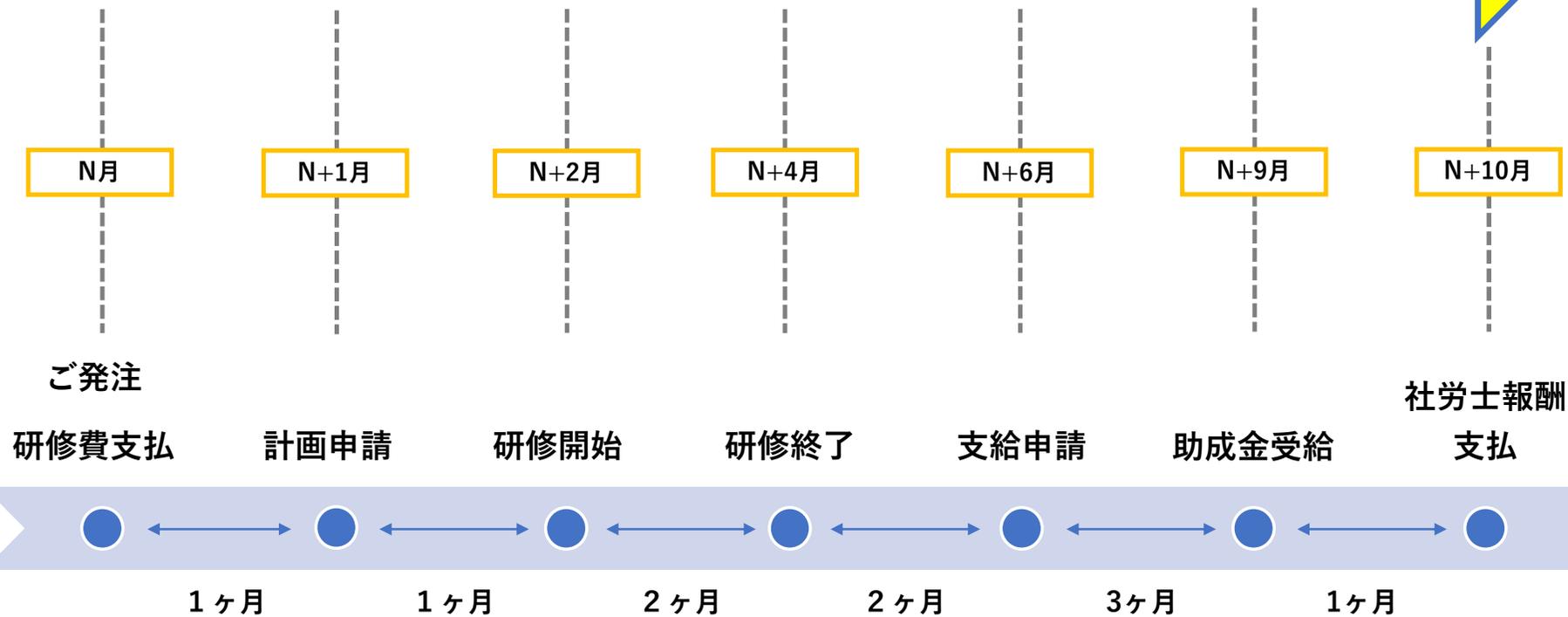




# 4. 助成金の流れと関係図



お支払いから助成金着金まで最短9か月



計画申請におよそ2週間～1か月かかります。  
発注後1週間で研修費支払いとなります。

申請完了後、研修開始まで  
1ヵ月の待期期間があります。

研修終了後、2か月以内に支給申請の義務があります。  
実施報告後、おおよそ3～6か月で受給ができます。

成功報酬支払

# 助成金の計画申請に必要なもの

1. 労働保険番号がわかるもの
2. 雇用保険適用事業者番号がわかるもの
3. 雇用保険番号がわかるもの
4. 対象者の氏名、雇用保険番号、雇用契約書（労働条件通知書）
5. 登記簿謄本のコピー

# 助成金受給実績

令和 6年 5月10日

人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）支給決定通知書

株式会社 プライオリティ 殿

愛知労働局

令和 5年12月26日付けで申請を受け付けた人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）について、下記のとおり支給とすることに決定しましたので通知します。

記

1 助成金 助成金支給番号 0320-0003529-8 助成金名称 人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）	
2 対象事業主/対象事業所 株式会社 プライオリティ	事業所番号 2302-621114-9
3 支給決定金額	2,180,000円
4 振込先金融機関口座	金融機関名 三菱UFJ銀行 金山支店 預貯金種別 普通 預貯金口座番号 00000****779 口座名義 株式会社 プライオリティ
5 備考	デジタル・DX化関係

1. 偽りその他不正の行為により助成金の支給を受けた場合や支給すべき額を超えて助成金の支給を受けた場合等は、支給した助成金の返還を求めます。

2. 支給した助成金について、事後的に調査を実施する場合があります。

3. 提出した関係書類の原本や写し等は、支給決定日の翌日から起算して5年間保存してください。

4. 支給した助成金は、政治資金規正法第22条の3第1項に定める寄附制限の例外（試験研究、調査又は災害復旧に係るものその他性質上利益を伴わないもの）に該当するものとして判断しています。

※寄附制限の例外に該当しない場合、当該助成金の支給決定通知を受けた日から1年間、政治活動に関する寄附をすることができません。

現状、支給申請からおおよそ3～4か月での着金となっております。

お申し込みはこちらから

<https://app.jibun-apps.jp/form/a9b45a9a-4793-4b1e-9939-447993bd9467/new>

